

箱根町立箱根湿生花園 平成27年 3月15日発行

花だより 開園速報号

箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

2万株のミズバショウが咲く
箱根湿生花園は 3月20日 開園!

3月下旬から4月上旬の見頃の花 約40種

＜草の花＞ミズバショウ ザゼンソウ キクザキイチゲ ショウジョウバカマ
カタクリ エゾノリュウキンカ ミスミソウ セリバオウレン エゾエンゴサク
タチツボスミレ ハルトラノオ セントウソウ キバナノアマナ コシノコバイモ
シラネアオイ ニリンソウ キジムシロ リュウキンカ フキ(フキノトウ) ほか

＜木の花＞ネコヤナギ アセビ ミツマタ コブシ シデコブシ ウゲイスカグラ
トサミズキ ヒュウガミズキ マメザクラ ゲンカイツツジ オニシバリ ナニワズ
イヌコリヤナギ ほか



群生する園内のミズバショウ
(4月上旬頃の様子)

ミズバショウ

「水芭蕉」(サトイモ科)
北海道～東北地方の湿地に群生する多年草。白い花びらに見えるのは苞で、中にある棒状のものが花です。

園内には約2万株のミズバショウが植栽されています。今年の見頃は4月上旬。



落葉広葉樹林区に群生し、可憐な花を咲かせるカタクリ。
(4月上旬頃の様子)



5月には「青いケシ展」を開催します。期間中、延べ1,000株の青いケシを展示する予定です。



カタクリ

「片栗」(ユリ科)

落葉広葉樹林区では、約3千株が群生し、可憐な花を次々と咲かせます。開園から4月上旬までが見頃。

観察場所: ①・岩



キクザキイチゲ

「菊咲一華」(キンポウゲ科)

北海道～近畿地方の山地の落葉樹林内に生える多年草。箱根にも自生し、神山、駒ヶ岳で多く見られます。

観察場所: ①・⑧



ショウジョウバカマ

「猩々袴」(ユリ科)

名前の由来は、葉が冬に猩々(中国の想像上の動物)のように赤くなり、車状に広がる姿を袴に見立て。

観察場所: ⑤・⑥・岩



ザゼンソウ

「座禅草」(サトイモ科)

北海道～本州中部の湿原や湿った林の下に生える多年草。ミズバショウよりもやや早く咲きます。

観察場所: ⑧



エゾノリュウキンカ

「蝦夷の立金花」(キンポウゲ科)

名前の由来は、北海道に多く自生し、黄金色の花が立つように咲くことから。

観察場所: ③・⑧



ミスミソウ

「三角草」(キンポウゲ科)

早春に咲くので雪割草とも呼ばれていますが、本物のユキワリソウはサクラソウ科の植物です。

観察場所: ①・岩

催し物のご案内

春の山野草展

3月20日～4月19日

エビネやミズバショウなど、国内外の山野草を約100種800点と江戸時代から続く日本桜草の園芸種を約50品種展示します。
※サクラソウの展示は4月上旬～。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

箱根湿生花園では、フォトコンテスト2015を開催します。募集作品は、2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真。皆様が撮影した選りすぐりの一枚をご応募ください。

※お申し込み方法などにつきましては当園HPにてご確認ください。

* 園内ガイドウォーク *

当園職員と一緒に、園内の植物を観察しながら廻ります。

開催日: 4月8日(水)、22日(水)

時間: 午前10時～正午

定員: 20名

花だより 第1号

3月25日～4月5日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

開園してまだ間もない園内ですが、早くもミズバショウやカタクリが見頃を迎えています。今年は、3月中頃の気温が高めだったこともあり、例年に比べ、全体に一週間程度早めの開花状況となっています。

見頃の花 28種

＜草の花＞ミズバショウ キバナノアマナ ショウジョウバカマ キクザキイチゲ
カタクリ コシノコバイモ ミスミソウ アズマイチゲ エゾエンゴサク キジムシロ
ミツバノバイカオウレン セントウソウ ツクシショウジョウバカマ アズマシロカネソウ
フキ ほか

＜木の実＞トサミズキ ウグイスカグラ ヒュウガミズキ オニシバリ ナニワズ マンサク
ミツマタ アセビ ネコヤナギ カワヤナギ ほか

咲き始めの花

ニリンソウ イワウチワ リュウキンカ エンコウソウ コチャルメルソウ オクチョウジザクラ
オオバナノエンレイソウ ほか



園内のミズバショウの様子 (3月24日撮影)。

ミズバショウ 「水芭蕉」 (サトイモ科)

北海道～兵庫県の日本海側の湿地に自生。花が終わるとバショウ (バナナの仲間) に似た大きな葉が出てきます。

観察場所：③・⑤・岩・⑥・⑧



湿生林区に群生するミズバショウ。(3月24日撮影)



「春の山野草展」では、春を代表する山野草をお楽しみいただけます。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



カタクリ

「片栗」(ユリ科)

北海道～九州の山野に群生する多年草。球根からは上質なデンプンが取れ、かつては片栗粉として使われました。

観察場所：①・岩



キバナノアマナ

「黄花の甘菜」(ユリ科)

北海道、本州(中部以北)、四国の日当りの良い草地や田んぼの畦、林のふちなどに生える多年草。

観察場所：②



ショウジョウバカマ

「猩々袴」(ユリ科)

名前の由来は、葉が冬に猩々(中国の想像上の動物)のように赤くなり、車状に広がる姿を袴に見立て。

観察場所：サ・⑤・⑥・岩



トサミズキ

「土佐水木」(マンサク科)

高知県に自生します。良く似たヒュウガミズキよりも1本の花穂につく花数が多く、全体に大型。

観察場所：サ・②



キクザキイチゲ

「菊咲一華」(キンポウゲ科)

北海道～近畿地方の山地の落葉樹林内に生える多年草。箱根にも自生し、神山、駒ヶ岳で多く見られます。

観察場所：①・⑧



ウグイスカグラ

「鶯神楽」(スイカズラ科)

北海道南部～九州の林内に生える落葉低木。雑木林などの明るい林などでよく見られます。日本固有種。

観察場所：①・②



コシノコバイモ

「越の小貝母」(ユリ科)

北陸地方、新潟県、静岡県福島県の山林の薄暗い場所に生える多年草。名は、越後のコバイモという意味。

観察場所：岩

催し物のご案内

春の山野草展

3月20日～4月19日

国内外の山野草を約100種800点と日本桜草の園芸種を約50品種展示します。※サクラソウの展示は4月から

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：4月8日(水)、22日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第2号

4月5日～4月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

園内では、箱根を代表する桜・マメザクラが咲きだしました。しっとりとした霧にまつまれた林の下では、見ごろを迎えた約2万株のミスバショウが次々に新たな花を咲かせ、花数を増しています。園内の植物は、全体に例年より1週間ほど早めとなりそうです。

見頃の花 48種

＜草の花＞ミスバショウ リュウキンカ ニリンソウ カタクリ エゾエンゴサク
イワウチワ キバナノアマナ コシノコバイモ ミスミソウ エンコウソウ セントウソウ
エゾノリュウキンカ イワザクラ キジムシロ アズマシロカネソウ ショウジョウバカマ
ハルトラノオ ほか

＜木の花＞マメザクラ ゲンカイツツジ コブシ チシマザクラ ヒュウガミズキ
シデコブシ エゾムラサキツツジ ウグイスカグラ シキミ ヤブツバキ ヤチヤナギ
ツノハシバミ オクチョウジザクラ アセビ ほか

咲き始めの花

オオバキスミレ タチツボスミレ オサバグサ ユキヤナギ オオバナノエンレイソウ
キブシ カキドオシ ほか



園内のミスバショウの様子 (4月4日撮影)

ミスバショウ 「水芭蕉」 (サトイモ科)

北海道～兵庫県の日本海側の湿地に自生。花が終わるとバショウ (バナナの仲間) に似た大きな葉が出てきます。

観察場所：③・⑤・岩・⑥・⑧



マメザクラが咲く園内の様子。
(4月4日撮影)



「春の山野草展」の開催は、
3月20日～4月19日まで。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



マメザクラ

「豆桜」 (バラ科)

箱根や富士山周辺に多い落葉小高木。名前の由来は、花や葉が小さいことから。別名「乙女桜」、「富士桜」とも。

観察場所：園内各所



ゲンカイツツジ

「玄海躑躅」 (ツツジ科)

園内で最も早く咲くツツジです。名前の由来は、北九州の玄界灘周辺の山地に自生することから。

観察場所：サ・⑤



コブシ

「辛夷」 (モクレン科)

各地の丘陵～山地に生える落葉高木。仙石原にも自生し、まだ葉を広げていない林の中で白い花が目立ちます。

観察場所：園内各所



ニリンソウ

「二輪草」 (キンポウゲ科)

落葉樹林内や林縁に生える多年草。若葉は食べられますが、毒草のトリカブトによく似ているので注意が必要です。

観察場所：③・⑧



チシマザクラ

「千島桜」 (バラ科)

ミネザクラによく似ていますが、花や葉に毛があるので区別できます。名前の由来は、自生地の子島列島から。

観察場所：④



ヒュウガミズキ

「日向水木」 (マンサク科)

石川～兵庫県の日本海側の岩地に生えます。名前とは異なり、日向 (宮崎県) には自生しません。

観察場所：サ・②

催し物のご案内

春の山野草展

3月20日～
4月19日

国内外の山野草を約100種800点と日本桜草の園芸種を約50品種展示します。※サクラソウの展示は4月から

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：4月8日(水)、22日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第3号

4月15日～4月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

春らしからぬ雨の日が続いておりましたが、園内では、ヤマザクラやオオシマザクラといった野生の桜が見ごろとなっています。また、低層湿原区の林の下、群生するノウルシの台間では、ピンク色が鮮やかなサクラソウも咲き始めました。好評開催中の「春の山野草展」は、4月19日まで。どうぞ、お見逃しなく！

見頃の花 70種

- ＜草の花＞ニリンソウ キバナイカリソウ オオバナノエンレイソウ オキナグサ
ノウルシ エンコウソウ オオバキスミレ シラネアオイ オサバグサ スミレサイシン
シコクカッコソウ ユキワリコザクラ リュウキンカ トガクシショウマ コイワザクラ
セントウソウ アズマシロカネソウ ミツバツチグリ イカリソウ カキドオシ ほか
- ＜木の花＞ヤマザクラ ミツバツツジ オオシマザクラ オオヤマザクラ オオカメノキ
マメザクラ ザリコミ ミヤマヤナギ ウリカエデ ユキヤナギ ヤエベニシダレ アセビ
ウメウツギ シナレンギョウ アブラチャン ボケ ヤブツバキ ほか

咲き始めの花

サクラソウ サワオグルマ ヒメシャクナゲ ヤマブキ ヤマブキソウ エゾノツガザクラ
ミチノクコザクラ ハルユキノシタ アカボシシャクナゲ クロモジ アオキ ほか



湿生林区に群生するニリンソウ (4月14日撮影)

ニリンソウ 「二輪草」(キンポウゲ科)

落葉樹林内や林縁に生える多年草。若葉は食べられますが、毒草のトリカブトに良く似ているので注意が必要です。

観察場所：③・⑧



「春の山野草展」の開催は、3月20日～4月19日まで。



低層湿原区では、サクラソウが咲き始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



ヤマザクラ

「山桜」(バラ科)

本州～九州の山地に生える落葉高木。「染井吉野」が普及するまでは、サクラといえば本種のことを指した。

観察場所：サ・④・⑦



ミツバツツジ

「三葉躑躅」(ツツジ科)

本州(関東～近畿)の太平洋側の林内や岩場に生える落葉低木。庭木として、よく利用される。

観察場所：サ・①・岩・⑥



キバナイカリソウ

「黄花碓草」(メギ科)

北海道中部～本州日本海側にかけて生える多年草。名前の由来は、花の形が船の碓に似て、淡黄色なため。

観察場所：①



オオバナノエンレイソウ

「大花の延齢草」(ユリ科)

北海道～東北地方の湿った林内に群生する多年草。種子を蒔いて育てると、花が咲くまで約10年かかります。

観察場所：岩・⑧



ノウルシ

「野漆」(トウダイグサ科)

川岸などの湿地に生える多年草。名は、茎を切るとウルシの樹液に似た乳白色の汁がでることから。

観察場所：③



オキナグサ

「翁草」(キンポウゲ科)

本州～九州の草地に見られる多年草。名前の由来は、花後の種子に翁の白髭の様な綿毛をつけることから。

観察場所：②



エンコウソウ

「猿猴草」(キンポウゲ科)

本州の湿地に生える多年草。名前の由来は、横に広がる長い花茎をテナガザル(猿猴)に見立てたことから。

観察場所：③・④・⑥・⑧

催し物のご案内

春の山野草展

3月20日～
4月19日

国内外の山野草を約100種800点と日本桜草の園芸種を約50品種展示します。※サクラソウの展示は4月から

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：4月22日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第4号

4月25日～5月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

やっと春らしい日が続き、湿原の木々たちも次々と動き出し、仙石原は芽吹き季節を迎えています。箱根湿生花園の林の下ではヤマブキやヤマブキソウなど鮮やかな黄色の花が目立ちます。5月1日からは、「青いケシ展」を開催！今回の企画展では、期間中延べ1,000株の青いケシと、珍しいその仲間を展示。お楽しみに！

見頃の花 84種

＜草の花＞ヤマブキソウ ミヤマオダマキ クマガイソウ ミツガシワ サワオグルマ
バイカイカリソウ サクラソウ エンコウソウ シラネアオイ オサバグサ ヒトリシズカ
イチリンソウ ノウルシ ニリンソウ スズムシソウ オオバキスミレ シコクカクソウ
ハルユキノシタ ミチノクコザクラ ハクサンチドリ ユキワリコザクラ キバナイカリソウ
オキナグサ ツバメオモト イカリソウ カキドオシ ほか

＜木の花＞ヤマブキ ヒメシャクナゲ トウゴクミツバツツジ アカボシシャクナゲ
イロハモミジ チングルマ アオキ ウリカエデ ヤクシマオナガカエデ ヤブツバキ
メギ クロモジ クロフネツツジ ほか

咲き始めの花

ヤマシャクヤク サルメンエビネ シロヤシオ ムラサキヤシオ ユキザサ センダイハギ
ミヤマキリシマ ウワバミソウ キクバクワガタ タカネスミレ ほか



湿生林区に咲くヤマブキソウ (4月23日撮影)

ヤマブキソウ 「山吹草」(ケシ科)

本州～九州の山野に群生する多年草。ヤマブキの花に似ていますが、ケシ科の植物で花びらは4枚です。

観察場所：①・⑧



「青いケシ展」準備中。



岩場植物区では、ヤマシャクヤクが咲き始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



ヤマブキ

「山吹」(バラ科)

日本各地の山野に自生し、観賞用にも栽培されています。名前の由来は、山でしなやかな枝が風に揺られる様子から。

観察場所：サ・①・岩



ミヤマオダマキ

「深山苧環」(キンポウゲ科)

高山の岩地に自生する多年草。名前の由来は、深山に生え、花の形が紡いだ麻糸の玉に似ているので。

観察場所：⑤



クマガイソウ

「熊谷草」(ラン科)

北海道～九州の山地に生える多年草。名前の由来は、花の形が熊谷直実の背負ったホロに似ているため。

観察場所：①・④



ミツガシワ

「三柏」(ミツガシワ科)

山地の湿地や沼に生える多年生の水草。名前の由来は、カシワのような大きな葉を3枚広げることから。

観察場所：④・⑤・⑥・⑧



ヒメシャクナゲ

「姫石楠花」(ツツジ科)

本州中部以北の日当たりのよい高層湿原に生える常緑小低木。スズランのような可愛らしい花が印象的です。

観察場所：⑥



バイカイカリソウ

「梅花碓草」(メギ科)

山地の林内に生える多年草。名前の由来は、イカリソウの仲間、花を梅の花に見立てたことから。

観察場所：①・岩



サワオグルマ

「沢小車」(キク科)

北海道を除く各地の湿地に生える多年草。名前は、花がオグルマ(キク科)に似て、沢などの水辺に生えることから。

観察場所：⑥

催し物のご案内

1000株の青いケシ&青いケシ写真展

青いケシ展

～神秘的な幻の花～

2015.5.1～2015.6.10

期間中延べ1,000株の青いケシと、青いケシ自生地の貴重な写真を集めた写真展を開催します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：5月13日(水)、27日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第5号

5月5日～5月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

園内では、新緑がまぶしい季節を迎えています。ヌマガヤ草原区では、鮮やかな朱色のレンゲツツジが花ひらき、美しい緑の中でひととき目を引いています。また、高山のお花畑区では、ミヤマオダマキやチシマキンバイといった色とりどりの花が、見ごろを迎えています。人気のシラネアオイやクマガイソウも、まだまだお楽しみいただけます。

見頃の花 97種

＜草の花＞チシマキンバイ クマガイソウ サワオグルマ シラネアオイ ミヤマオダマキ センダイハギ ヒイラギソウ キクバクワガタ タカネスミレ ユキザサ クロユリ チゴユリ サクラソウ サルメンエビネ エビネ ウワバミソウ ツボスミレ ミツガシワ コンロンソウ バイカイカリソウ ミヤマアズマギク イチリンソウ スズムシソウ コウホネ ムサシアブミ エゾノハナシノブ アマドコロ ホウチャクソウ イワユキノシタ ほか

＜木の花＞レンゲツツジ オンツツジ トウゴクミツバツツジ ホンシャクナゲ イワヒゲ ヒメシャクナゲ クロウメモドキ ドクウツギ コクサギ トウグミ アオキ アケビ メギ スノキ アイズシモツケ クロモジ ミヤマキリシマ ムラサキヤシオ ヒカゲツツジ ほか

咲き始めの花

ツリバナ ニシキギ ヒオウギアヤメ ニッコウキスゲ ミヤマキリシマ ヒメシャガ アサザ クサタチバナ ウマノアシガタ カサスゲ ムラサキツリガネツツジ ほか



ヌマガヤ草原区でひととき目を引くレンゲツツジの花

レンゲツツジ 「蓮華躑躅」(ツツジ科)

名前の由来は、つぼみの状態がハスの花に似ることから。園内では、黄花のキレンゲツツジも見られます。

観察場所：④



色とりどりの花が咲く、外国の山野草と園芸種のエリア



青いケシ展の会場では、黄色い花をつける珍しい青いケシの仲間(メコノプシス・インテグリアフォリア)が開花中。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



オンツツジ

「御躑躅」(ツツジ科)

紀伊半島、四国、九州の低山の林縁に生える落葉低木。花は葉と同時に開き、葉が3枚まとまって付くのが特徴です。

観察場所：⑤



チシマキンバイ

「千島金梅」(バラ科)

北海道、サハリン、千島列島、カムチャツカ半島の海岸の岩場に生える多年草。大型になり、葉が肉厚で毛深い。

観察場所：⑤



クマガイソウ

「熊谷草」(ラン科)

北海道～九州の山地に生える多年草。名前の由来は、花の形が熊谷直実の背負ったホロに似ているため。

観察場所：①・④



サワオグルマ

「沢小車」(キク科)

北海道を除く各地の湿地に生える多年草。名前は、花がオグルマ(キク科)に似て、水辺に生えることから。

観察場所：⑥



シラネアオイ

「白根葵」(シラネアオイ科)

多雪地の山地に生える多年草。普通、花は淡い紅紫色ですが、まれに白花品もあります。

観察場所：④・⑤



センダイハギ

「先代萩」(マメ科)

名前の由来は、北国に多いことから、仙台を舞台にした歌舞伎「伽羅先代萩」の名を取ったといわれています。

観察場所：④



ミヤマオダマキ

「深山苧環」(キンポウゲ科)

高山の岩地に自生する多年草。名前の由来は、深山に生え、花の形が紡いだ麻糸の玉に似ているので。

観察場所：⑤

催し物のご案内

1000株の青いケシ&青いケシ写真展

青いケシ展

～神秘的な幻の花～

2015.5.1～2015.6.10

期間中延べ1,000株の青いケシと、青いケシ自生地の貴重な写真を集めた写真展を開催します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：5月13日(水)、27日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第6号

5月15日～5月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

4月の天候不順のため開花が遅れていた企画展会場の「ヒマラヤの青いケシ」も徐々に花数を増やし、群生を楽しめるようになりました。露地にて栽培している「ヒマラヤの青いケシ」も少しずつ咲き始め、園内が“ヒマラヤンブルー”に包まれるのももうすぐです！

見頃の花 96種

＜草の花＞ヒマラヤの青いケシ クサタチバナ エゾキスゲ チョウジソウ クロユリ
アヤメ ニッコウキスゲ トビシマカンゾウ エゾルリソウ ヒオウギアヤメ カキツバタ
ヒメシャガ コマクサ クリンソウ エゾスカシユリ ミヤマヨメナ キンラン コウホネ
サルメンエビネ ハマエンドウ シロバナノヘビイチゴ ウマノアシガタ イワユキノシタ
ベニコウホネ アサザ コキンバイザサ オランダカイウ ワスレナグサ ほか

＜木の花＞タニウツギ ミヤマキリシマ ヤマトツツジ レンゲツツジ ケナシヤブデマリ
ニシキギ ツリバナ コマユミ カマツカ ムラサキツリガネツツジ シロバナタニウツギ
サラサドウダン ハマナス ゴマギ カラコギカエデ スノキ オオデマリ ホソエカエデ
イワヒゲ コデマリ ほか

咲き始めの花

ヒメサユリ イブキトラノオ シライトソウ イワシモツケ マルバシモツケ ヤブデマリ
オオナルコユリ シラン サワフタギ モチツツジ サイジョウコウホネ ほか



企画展会場に咲く「ヒマラヤの青いケシ」

ヒマラヤの青いケシ (ケシ科)

ヒマラヤを中心とするアジア中央部の高山に自生。ポピーの花に似ているので、ブルーポピーとも呼ばれます。

観察場所：サ・企画展会場



色とりどりの花が新緑に映える高山のお花畑区



園内ではヒメサユリが咲き始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



アヤメ

「文目・菖蒲」(アヤメ科)

各地のやや乾いた草原に生える多年草。カキツバタに似ていますが、花に黄色の網目模様が入るのが特徴です。

観察場所：②・⑤



クサタチバナ

「草橘」(ガガイモ科)

本州(関東以西)、四国に生える多年草。名前の由来は、花がタチバナ(ミカン科の木)に似ているので。

観察場所：②



タニウツギ

「谷空木」(スイカズラ科)

ユキノシタ科のウツギとは全くの別種。日本海側の山地に多い落葉低木。園内には白花品もあります。

観察場所：③・④



クロユリ

「黒百合」(ユリ科)

北海道の低地に自生する多年草。高山に生えるミヤマクロユリよりも背丈が大きくなり、花付が良いのが特徴。

観察場所：⑤



エゾキスゲ

「蝦夷黄菅」(ユリ科)

北海道、南千島の砂浜や海岸の草地に生える多年草。1つの花は、夕方に開き、翌日の午後まで咲いています。

観察場所：④・⑤



チョウジソウ

「丁字草」(キョウチクトウ科)

北海道、本州、九州の湿地に生える多年草。名前の由来は、花を横から見ると「丁」の字に見えることから。

観察場所：③・岩

催し物のご案内

1000株の青いケシ&青いケシ写真展

青いケシ展

～神秘的な幻の花～

2015.5.1～2015.6.10

期間中延べ1,000株の青いケシと、青いケシ自生地の貴重な写真を集めた写真展を開催します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：5月27日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第7号

5月25日～6月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

澄み切った青空の中、幻の花として有名な「ヒマラヤの青いケシ」が見ごろを迎えています。また、園内ではサンショウバラやハマナスといった野生のバラも今が見ごろ。新緑に映える美しい花たちをお楽しみいただけます。

見頃の花 97種

＜草の花＞ヒマラヤの青いケシ イブキトラノオ ヒメサユリ クサタチバナ ハマナス トビシマカンゾウ オカタツナミソウ ミヤマヨメナ レンリソウ エゾノレンリソウ シラン ヤグルマソウ コバノタツナミ フナバラソウ シコタンソウ ヒオウギアヤメ コマクサ アサザ カザグルマ レブンソウ ムシヤリンドウ ヒツジグサ チョウジソウ シライトソウ オオナルコユリ コウホネ ベニコウホネ サイジョウコウホネ スイレン サラセニア ほか

＜木の花＞ハマナス カンボク サンショウバラ コハマナス カラフトイバラ ウツギ タカネイバラ ヤブデマリ イワシモツケ マルバシモツケ ミツバウツギ ツリバナ キンロバイ コゴメウツギ サワフタギ ほか

咲き始めの花

ノハナショウブ エゾノキリンソウ アワモリショウマ ネムロコウホネ ニシキウツギ カルミア ほか



園内出見ごろを迎えた「ヒマラヤの青いケシ」

ヒマラヤの青いケシ (ケシ科)

ヒマラヤを中心とするアジア中央部の高山に自生。ポピーの花に似ているので、ブルーポピーとも呼ばれます。

観察場所：サ・企画展会場



新緑が美しい園内の様子。



企画展会場の青いケシの様子。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



イブキトラノオ

「伊吹虎の尾」(タデ科)

北海道～九州の日当たりの良い山地の草原に生える多年草。名前の由来は、滋賀県伊吹山に多く見られることから。

観察場所：④・⑥



ヒメサユリ

「姫小百合」(ユリ科)

山形、福島、新潟の県境付近の山地に生える多年草。名前の由来は、サユリ(ササユリ)に似て小型なので。

観察場所：⑤



クサタチバナ

「草橘」(ガガイモ科)

本州(関東以西)、四国に生える多年草。名前の由来は、花がタチバナ(ミカン科の木)に似ているので。

観察場所：②



サンショウバラ

「山椒薔薇」(バラ科)

箱根、富士地方特産の落葉低木。淡桃～桃色の美しい花を咲かせますが、一つの花は2日ほどで散ってしまいます。

観察場所：サ・⑦



カンボク

「肝木」(スイカズラ科)

北海道～本州の冷涼な湿地に生える落葉低木。花はヤブデマリに似ていますが、葉が3裂するのが特徴です。

観察場所：サ・②



ハマナス

「浜梨」(バラ科)

北海道～茨城、島根県以南の海岸砂地に生える落葉低木。花には強い芳香があり、香水の原料などに使われます。

観察場所：④

催し物のご案内

1000株の青いケシ&青いケシ写真展

青いケシ展

～神秘的な幻の花～

2015.5.1～2015.6.10

期間中延べ1,000株の青いケシと、青いケシ自生地の貴重な写真を集めた写真展を開催します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：5月27日(水)、6月10日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第8号

6月5日～6月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

季節のわりに暑い日が続いていましたが、久々の雨をうけ、園内の植物も生き生きとしてきました。園内のあちらこちらでヤマボウシが見ごろを迎え、湿生林区では、ハンカイソウの黄色い花が目を引きまます。好評開催中の「青いケシ展」は、6月10日まで。お見逃しなく!!

見頃の花 90種

＜草の花＞ハンカイソウ ニッコウキスゲ ササユリ エゾノキリンソウ ムシャリンドウ
コシジシモツケソウ センジュガンピ ミヤマヨメナ エゾノレンリソウ イブキトラノオ
オニシモツケ シラン コバノタツナミ カキノハグサ イワギリソウ レブンソウ サワラン
ミクリ ヤグルマソウ シコタンソウ コマクサ アワモリショウマ ウマノアシガタ アサザ
エゾキスゲ シライトソウ コウホネ ベニコウホネ サイジョウコウホネ ネムロコウホネ
ヒメコウホネ ヒツジグサ スイレン サラセニア ほか

＜木の花＞ヤマボウシ ガマズミ キミノガマズミ ハマナス コハマナス ウツギ マユミ
ノイバラ サンショウバラ サツキ キンロバイ ハクロバイ ニシキウツギ バイカウツギ
ツルコケモモ カルミア ほか

咲き始めの花

ノハナショウブ ハナショウブ マツモトセンノウ ヤナギラン イヌウメモドキ スイカズラ
エゾミソハギ ハコネコメツツジ クサフジ コバノズイナ エーデルワイス ほか



湿生林区で見ごろを迎えた「ハンカイソウ」

ハンカイソウ 「樊噲草」(キク科)

静岡県以西～九州に生える多年草。名前の由来は、豪壮に直立する姿から、中国漢時代の武将(樊噲)にたとえて。

観察場所：⑧



「青いケシ展」は6月10日まで開催しています。



園内では、ノハナショウブが咲き始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



ニッコウキスゲ

「日光黄菅」(ユリ科)

図鑑での名前(標準和名)はゼンテイカといい、別名がニッコウキスゲ。今では別名の方が一般的です。

観察場所：④・⑥



ヤマボウシ

「山法師」(ミズキ科)

本州～九州の山地に自生。箱根にも多く見られ、芦ノ湖周辺は「かながわ花の名所百選」に選ばれています。

観察場所：園内各所



エゾノキリンソウ

「蝦夷麒麟草」(ベンケイソウ科)

キリンソウに似ていますが、北国の岩地に自生し、茎が直立しないので区別できます。

観察場所：⑤



ムシャリンドウ

「武佐竜胆」(シソ科)

名前は、花がリンドウを思わせ、滋賀県武佐町で発見されたといわれていますが、滋賀には自生していません。

観察場所：④・⑤



コシジシモツケソウ

「越路下野草」(バラ科)

富山、長野県北部～山形に生える多年草。箱根には同じ仲間によく似たシモツケソウが自生しています。

観察場所：③・岩



センジュガンピ

「千手岩菲」(ナデシコ科)

本州中部以北の山地に自生。名前の由来は、中国産のガンピに似て、栃木県日光の千手が浜で発見されたので。

観察場所：岩

催し物のご案内

1000株の青いケシ&青いケシ写真展

青いケシ展

～特別展の花～

2015.5.1～2015.6.10

期間中延べ1,000株の青いケシと、青いケシ自生地の貴重な写真を集めた写真展を開催します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：6月10日(水)、24日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第9号

6月15日～6月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

梅雨の晴れ間の湿原では、ノハナショウブが静かに咲いています。ノハナショウブは、園芸種のハナショウブのもとになった植物。野生種ならではの清楚な花が魅力です。また、6月20日からは、湿原に生息する貴重な昆虫を紹介する「仙石原湿原の昆虫展」も開催します！

見頃の花 87種

＜草の花＞ノハナショウブ タマガワホトトギス マツモトセンノウ ニッコウキスゲ ナンテンハギ センジュガンピ ヤナギラン コシジシモツケソウ ヤマブキショウマ アワモリショウマ オニシモツケ ムシャリンドウ リシリヒナゲシ レブンソウ ミクリムラサキモメンヅル エゾキスゲ ナミキソウ ハンカイソウ パライチゴ ウメガサソウ コウホネ ベニコウホネ ヒメコウホネ サイジョウコウホネ ネムロコウホネ スイレン オオヌマハリイ ヒツジグサ アサザ ハナショウブ エーデルワイス ほか

＜木の花＞シモツケ ヤマボウシ イボタノキ ミヤマイボタ イヌツゲ ハイイヌツゲ ウツギ ハマナス ヒコサンヒメシャラ キンロバイ ハクロバイ サツキ コバノズイナ エゴノキ スイカズラ ほか

咲き始めの花

オオバギボウシ クガイソウ クサフジ ヤマアジサイ エゾミソハギ イヌウメモドキ キンレイカ ほか



ノハナショウブの清楚な花 (植生復元区にて)

ノハナショウブ 「野花菖蒲」 (アヤメ科)

アヤメやカキツバタに似ていますが、葉の脈が目立ち、花の中央に黄色い筋が入るのが特徴です。

観察場所：③・④・⑥・⑦・植



ハナショウブはノハナショウブをもとに改良された園芸種です。



湿生林区では、ハンカイソウが見ごろ。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



タマガワホトトギス

「玉川杜鵑」(ユリ科)

名前の由来は、花色がヤマブキに似て美しく、ヤマブキの名所、玉川(京都府井手町)からその名が付けました。

観察場所：③



シモツケ

「下野」(バラ科)

本州～九州の山に生える多年草。名前の由来は、下野の国(現在の栃木県)に多く自生していたため。

観察場所：園内各所



マツモトセンノウ

「松本仙翁」(ナデシコ科)

九州(阿蘇)の草原に特産する多年草。花が美しいため、江戸時代から庭園などに植えられてきました。

観察場所：②



ナンテンハギ

「南天萩」(マメ科)

北海道、本州、四国、九州の山野に生える多年草。名前の由来は、ハギに似た花をつけ、葉がナンテンに似るため。

観察場所：②



ニッコウキスゲ

「日光黄菅」(ユリ科)

図鑑での名前(標準和名)はゼンテイカといい、別名がニッコウキスゲ。今では別名の方が一般的です。

観察場所：④・⑥



センジュガンピ

「千手岩菲」(ナデシコ科)

本州中部以北の山地に自生。名前の由来は、中国産のガンピに似て、栃木県日光の千手が浜で発見されたので。

観察場所：岩

催し物のご案内

仙石原湿原の昆虫展

6月20日～8月31日

仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。

場所：管理棟1階 展示室

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：6月24日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第10号

6月25日～7月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

植生復元区の湿原に咲くノハナショウブもたいが花散が増えてきました。緑のながに点在して咲く、ノハナショウブは繊細な美しさをもっています。ススキ草原区では、鮮やかな赤色が目を引くヒメユリも見頃。展示室では、湿原に生息する貴重な昆虫を楽しめる「仙石原湿原の昆虫展」も開催しています！

見頃の花 84種

＜草の花＞ノハナショウブ クガイソウ カキラン ケイワタバコ ヒメユリ クサフジ
オカトラノオ エゾミソハギ オオバギボウシ ヤナギラン センジュガンピ キンレイカ
マツモトセンノウ ナンテンハギ ヤマブキショウマ ムシャリンドウ レブンソウ ミクリ
ムラサキモメンヅル エゾキシゲ ナミキソウ ハンカイソウ バライチゴ ウメガサソウ
アキカラマツ コウホネ ベニコウホネ サイジョウコウホネ ネムロコウホネ ヒツジグサ
オオヌマハリイ スイレン ハナショウブ ポンテデリア エーデルワイス ほか

＜木の花＞ハコネコメツツジ ホザキシモツケ サツマハギ イヌウメモドキ ヤマアジサイ
ミヤマイボタ イヌツゲ ハマナス キンロバイ ハクロバイ コバノズイナ ほか

咲き始めの花

クサレダマ ヌマトラノオ ノリウツギ ノカンゾウ コバギボウシ フジアカショウマ
シャジクソウ ヘメロカリス ほか



植生復元区に点々と咲くノハナショウブ

ノハナショウブ 「野花菖蒲」 (アヤメ科)

アヤメやカキツバタに似ていますが、葉の脈が目立ち、花の中央に黄色い筋が入るのが特徴です。

観察場所：③・④・⑥・⑦・植



花の中央に黄色い筋が入るのがノハナショウブの特徴。



展示室では「仙石原湿原の昆虫展」を開催しています！

《観察場所記号》サ：サービスヤード ①：落葉広葉樹林(乾生林)区 ②：ススキ草原区 ③：低層湿原区 ④ヌマガヤ草原区
⑤：高山のお花畑区 ⑥：高層湿原区 岩：岩場植物区 ⑦：仙石原湿原区 ⑧：湿生林区 植：植生復元区



クガイソウ

「九階草」(ゴマノハグサ科)

本州の山地の日当たりの良い草地に生える多年草。名前の由来は、輪生する葉が何段にも層をなして付くので。

観察場所：③・④・⑤



カキラン

「柿蘭」(ラン科)

本州～九州の日当たりのよい湿原に生える多年草。名前の由来は、花が柿色のため。箱根にも自生しています。

観察場所：サ・⑦



ケイワタバコ

「毛岩煙草」(イワタバコ科)

関東～近畿地方の日陰の岩壁などに生える多年草。イワタバコよりも低地に多く、花が早く咲きます。

観察場所：岩



ヒメユリ

「姫百合」(ユリ科)

名前の由来は、小さく可憐な花に因んで。本州～九州の山地にまれに自生。絶滅危惧種に指定されています。

観察場所：②



クサフジ

「草藤」(マメ科)

北海道、本州、九州の山野の日当たりのよい草地や林縁などに生える多年草。名前の由来は、花や葉が藤に似るため。

観察場所：④



オカトラノオ

「丘虎の尾」(サクラソウ科)

丘陵の日当たりのよい草原に生える多年草。名前の由来は、丘に生え、長い花穂を虎の尻尾に見立てて。

観察場所：②・⑤

催し物のご案内

仙石原湿原の昆虫展

6月20日～8月31日

仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。

場所：管理棟1階 展示室

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：7月8日(水)、7月22日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第11号

7月5日～7月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

湿原では、クサレダマやカセンソウなどの黄色い夏の花が目立つようになりました。尾のような可愛らしい花穂をつけるオカトラノオの群生も楽しめます。湿原を代表する野生ランの一種、ミズチドリも咲き始めています！

見頃の花 83種

＜草の花＞オカトラノオ カライトソウ クサレダマ クガイソウ ヤブカンゾウ
カセンソウ ノハナショウブ ヌマトラノオ イヌヌマトラノオ ヒメユリ ナミキソウ
エゾミソハギ カキラン タカネビランジ キンレイカ フジアカショウマ シヤジクソウ
ユウスゲ アキカラマツ レブンソウ ムラサキモメンヅル キツネノボタン ヤブレガサ
クサフジ オオバジャノヒゲ ヒツジグサ コウホネ ベニコウホネ サイジョウコウホネ
ネムロコウホネ スイレン ポンテデリア ミズカンナ ヘメロカリス ほか

＜木の花＞ホザキシモツケ ノリウツギ ハコネコメツツジ サツマハギ ヤマアジサイ
ツルコケモモ ツルマサキ ムラサキシキブ キンロバイ チョウセンキハギ ほか

咲き始めの花

ナガボノシロワレモコウ ハンゲショウ コバギボウシ タチギボウシ シモツケソウ
ツチアケビ キキョウ ほか



植生復元区に群生するオカトラノオ

オカトラノオ 「丘虎の尾」 (サクラソウ科)

丘陵の日当たりのよい草原に生える多年草。名前の由来は、丘に生え、長い花穂を虎の尻尾に見立てて。

観察場所：サ・②・⑦・植



植生復元区の様子 (7月3日)



植生復元区では、ミズチドリが咲き始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植街区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



カライトソウ

「唐糸草」 (バラ科)

中部地方の日本海側の山地に生える多年草。名前の由来は、美しい花穂を中国(唐)渡来の絹糸にたとえて。

観察場所：⑤



クサレダマ

「草連玉」 (サクラソウ科)

名前の由来は、花の様子がレダマ(マメ科の樹木)に似て草なので。「腐れ玉」ではありません。

観察場所：③・④・⑥・⑦・植



クガイソウ

「九階草」 (ゴマノハグサ科)

本州の山地の日当たりのよい草地に生える多年草。名前の由来は、輪生する葉が何段にも層をなして付くので。

観察場所：③・④・⑤



カセンソウ

「歌仙草」 (キク科)

北海道～九州の湿り気のあるところに自生します。植生復元区では、クサレダマと共に湿原を黄色く彩ります。

観察場所：②・植



ヤブカンゾウ

「藪萱草」 (ユリ科)

花は雄しべが花弁化し、八重咲き。古い時代に中国から渡来した帰化植物で、原種は一重です。

観察場所：②・⑦



ホザキシモツケ

「穂咲下野」 (バラ科)

北海道・本州の日当たりのよい湿原に生える落葉低木。名前の由来は、細長く穂状に咲くことから。

観察場所：④



ノリウツギ

「糊空木」 (ユキノシタ科)

名前の由来は、枝を水に浸して粘液を取り、和紙の糊料に用いられていたことから。アジサイと同じ仲間。

観察場所：サ・④・⑥・⑧

催し物のご案内

世界の食虫植物展 7月18日～8月31日

葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサをはじめ、ウツボカズラやサラセニアなどの食虫植物・約100種700点を展示。企画展の開催期間中、土曜、日曜、月曜の午後1時30分から食虫植物ミニ教室を開催します。

仙石原湿原の昆虫展 仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。場所：管理棟1階 展示室
6月20日～8月31日

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：7月8日(水)、7月22日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第12号

7月15日～7月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

園内ではキキョウやシモツケソウなど夏の花が一斉に咲きだし、緑の湿原では純白のミズチドリが可憐に咲いています。

7月18日からは、夏の企画展「世界の食虫植物展」を開催。期間中の土、日、月曜日には食虫植物ミニ教室も開催します！

見頃の花 79種

＜草の花＞ミズチドリ ヌマトラノオ オグラセンノウ シモツケソウ ハンゲシヨウ
キキョウ チダケサシ オカトラノオ カセンソウ ユウスゲ クサレダマ ヒツジグサ
ナミキソウ ウツボグサ オオバギボウシ ヤブカンゾウ ヤマホタルブクロ ホタルブクロ
アシタカジャコウソウ キンレイカ タチギボウシ ヒメシャジン カライトソウ クサフジ
ヤブレガサ コウホネ ベニコウホネ サイジョウコウホネ ネムロコウホネ コウゾリナ
スイレン ポンテデリア ヘメロカリス ほか

＜木の花＞ノリウツギ サツマハギ ホザキシモツケ ハコネコメツツジ キンロバイ
ノブドウ コマツナギ キンシバイ ハナツクバネウツギ ほか

咲き始めの花

コオニユリ ナガボノシロワレモコウ コバギボウシ カワラナデシコ サワヒヨドリ
ハコネギク タマアジサイ ジャコウソウ エゾリンドウ アキノタムラソウ ほか



湿原で純白の可憐な花を咲かせるミズチドリ。

ミズチドリ 「水千鳥」 (ラン科)

各地の日当たりのよい湿地に生える多年草。神奈川県では仙石原湿原だけにしか自生していません。絶滅危惧種。

観察場所：植



コオニユリも咲き始めました。



夏の企画展は18日から開催。

《観察場所記号》サ：サービスヤード ①：落葉広葉樹林(乾生林)区 ②：ススキ草原区 ③：低層湿原区 ④：ヌマガヤ草原区
⑤：高山のお花畑区 ⑥：高層湿原区 岩：岩場植物区 ⑦：仙石原湿原区 ⑧：湿生林区 植：植生復元区



シモツケソウ

「下野草」 (バラ科)

本州(関東以西)～九州の山地に分布し、箱根にも自生。駒ヶ岳や外輪山の山頂付近で多く見られます。

観察場所：②・⑤



ハンゲシヨウ

「半夏生・半化粧」(ドクダミ科)

名前の由来は、半夏生(夏至から11日目)の頃に葉が白くなるので。また、葉が半分白く化粧したようだからとも。

観察場所：⑧



キキョウ

「桔梗」(キキョウ科)

日当たりのよい草原に生える多年草。秋の七草でいうアサガオとはキキョウのことだといわれています。

観察場所：②・⑤・植



オグラセンノウ

「小倉仙翁」(ナデシコ科)

本州(岡山県以西)、九州の湿地に生える多年草。ナデシコに似た、美しい濃赤色の花を咲かせます。

観察場所：⑥



チダケサシ

「乳茸刺」(ユキノシタ科)

本州～九州の日当たりのよい湿原に生える多年草。箱根にも自生し、仙石原湿原に多く見られます。

観察場所：③・⑦・植



ヌマトラノオ

「沼虎の尾」(サクラソウ科)

本州～九州の湿地に生える多年草。オカトラノオと似ていますが、花穂がまっすぐ立ち上がるのが特徴です。

観察場所：③・④・⑥・⑦

* 湿原コンサート *

湿原の中でハーモニカの音色に酔いしれてみませんか？

【ハーモニカの演奏会】

開催日：7月18日(土)

午前の部：11:00～12:00

午後の部：13:30～14:30

場所：箱根湿生花園
(サービスヤード広場)

演奏者：厚木ひまわり (ハーモニカアンサンブル)

田中義彦 &
小田原シニアハーモニカアンサンブル同好会

催し物のご案内

世界の食虫植物展 7月18日～8月31日

葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサをはじめ、ウツボカズラやサラセニアなどの食虫植物・約100種700点を展示。企画展の開催期間中、土曜、日曜、月曜の午後1時30分から食虫植物ミニ教室を開催します。

仙石原湿原の昆虫展
仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。場所：管理棟1階 展示室
6月20日～8月31日

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：7月22日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第13号

7月25日～8月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

園内では、神奈川県の花“ヤマユリ”が咲きだし、林の中は上品な香りに包まれています。また、さわやかな風が吹き抜ける草原では、コオニユリやカワラナデシコ、キキョウが見頃。「世界の食虫植物展」と「仙石原湿原の昆虫展」も好評開催中です。企画展の開催にあわせ、7/25～7/28には、園内で“昆虫観察会”も開催します！

見頃の花 77種

＜草の花＞ヤマユリ フシグロセンノウ ナガボノシロワレモコウ コオニユリ ソバナ
コバギボウシ カワラナデシコ チダケサシ キキョウ ノコギリソウ ツリガネニンジン
ジャコウソウ カセンソウ ハコネギク シモツケソウ キリンソウ ヒメシャジン イヌゴマ
ヤマハハコ ナミキソウ ウツボグサ イブキジャコウソウ オグラセンノウ ダイコンソウ
コウゾリナ ギンバイソウ ハンゲショウ コウホネ ベニコウホネ ヒツジグサ スイレン
サイジョウコウホネ ポンテデリア オオヌマハリイ ほか

＜木の花＞サツマハギ ハコネコメツツジ コマツナギ キンシバイ ハナツクバネウツギ
キンロバイ タマアジサイ ほか

咲き始めの花

キレンゲショウマ サワギキョウ ミソハギ シキンカラマツ サワヒヨドリ ヒヨドリバナ
オミナエシ ユウガギク エゾリンドウ シカクヒマワリ カクトラノオ ほか



神奈川県の花“ヤマユリ”が見頃です！

ヤマユリ 「山百合」(ユリ科)

本州近畿以北の山地に生える日本固有のユリです。花は、ユリの仲間では一番大きく、強い香りがあります。

観察場所：サ・①・岩



キレンゲショウマが咲き始めました(湿生林区にて)。



「世界の食虫植物展」も好評開催中！！

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



フシグロセンノウ

「節黒仙翁」(ナデシコ科)

本州～九州の山地の林に生える多年草。名前の由来は、葉のついた節のところが、黒くなるため。

観察場所：①・⑧



ソバナ

「蕎麦菜・岨菜」(キキョウ科)

本州～九州の山地の草原や林のふちなどに生える1mほどの多年草。若い茎や葉は山菜として食用になります。

観察場所：①・岩



カワラナデシコ

「河原撫子」(ナデシコ科)

本州～九州の日当たりの良い草地や河原に生える多年草。オミナエシと共に、秋の七草の1つです。

観察場所：園内各所



コバギボウシ

「小葉擬宝珠」(ユリ科)

日当たりの良い湿地に生える多年草。名前の由来は、つぼみの形が、橋の欄干に付ける擬宝珠に似て、小型のため。

観察場所：④・⑥・⑦



コオニユリ

「小鬼百合」(ユリ科)

北海道～九州の草原に自生。オニユリとよく似ていますが、葉の付け根にムカゴができないので区別できます。

観察場所：③・④・⑦・植



ナガボノシロワレモコウ

「長穂の白吾木香」(バラ科)

湿地に生え、草丈が1mにもなる多年草。ワレモコウと同じ仲間ですが、白花で穂が長いのが特徴です。

観察場所：④

催し物のご案内

世界の食虫植物展 7月18日～8月31日

葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサをはじめ、ウツボカズラやサラセニアなどの食虫植物・約100種700点を展示。企画展の開催期間中、土曜、日曜、月曜の午後1時30分から食虫植物ミニ教室を開催します。

仙石原湿原の昆虫展 仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。場所：管理棟1階 展示室
6月20日～8月31日

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：8月12日(水)、26日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

箱根ビジターセンタースタッフによる

昆虫ガイドウォーク

箱根ビジターセンターの須田さんを講師に招き、昆虫観察会を開催します。園内を散策しながら、仙石原に生息する貴重な昆虫を解説していただきます。

開催日：7月25日～28日

人数：先着20名

実施時間：①11:00～

②14:00～

講師：須田 淳 氏

(自然公園財団箱根支部)

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第14号

8月5日～8月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

仙石原でも暑い日が続いていますが、園内では、燈色が美しい“コオニユリの花”が夏の日差しを浴び、輝きを増しています。また、植生復元区ではキキョウやカワラナデシコなど“秋の七草”も目立つようになりまして。企画展会場では、夏の企画展「世界の食虫植物展」を開催中！！期間中の土曜日、日曜日、月曜日には、食虫植物ミニ教室も開催します！

見頃の花 78種

＜草の花＞コオニユリ レンゲショウマ ヒメトラノオ カワラナデシコ コバギボウシ
フシグロセンノウ キレンゲショウマ ナツエビネ ミズオトギリ ツリガネニンジン
シシウド ミソハギ ノコギリソウ ヤマハハコ ハコネギク キリンソウ エゾリンドウ
ヤナギタンポポ ダイコンソウ サワヒヨドリ ヒヨドリバナ キキョウ ウバユリ ゴマナ
イヌゴマ コウゾリナ ハンゲショウ マツカゼソウ ヒツジグサ コウホネ ベニコウホネ
サイジョウコウホネ ネムロコウホネ スイレン オオヌマハリイ シカクヒマワリ ほか

＜木の花＞サツマハギ イワナンテン タマアジサイ キンシバイ ハナツクバネウツギ
キンロバイ コマツナギ ほか

咲き始めの花

サギソウ オミナエシ オトコエシ ワレモコウ マツムシソウ サワギキョウ タムラソウ
シキンカラマツ ユウガギク ミズヒキ ヤブラン クルマバハグマ ヤマノイモ ほか



植生復元区に咲く“コオニユリ”

コオニユリ 「小鬼百合」(ユリ科)

北海道～九州の山地の草原に生える多年草。名前の由来は、オニユリよりも小さく、花の色が赤鬼を思わせるため。

観察場所：②・③・④・⑥・⑦・植



植生復元区では、咲き始めたオミナエシが目を引きます。



「世界の食虫植物展」も好評開催中！！

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



レンゲショウマ

「蓮華升麻」(キンポウゲ科)

本州中部(福島県～奈良県)の太平洋側の山地に生える多年草。日本固有種で、1属1種の植物です。

観察場所：①



ヒメトラノオ

「姫虎の尾」(ゴマノハグサ科)

関東～九州の山野に生える多年草。名前の由来は、全体に小型で、細長い花穂を虎の尻尾に見立てて。

観察場所：⑦・植



カワラナデシコ

「河原撫子」(ナデシコ科)

本州～九州の日当たりの良い草地や河原に生える多年草。オミナエシと共に、秋の七草の1つです。

観察場所：園内各所



フシグロセンノウ

「節黒仙翁」(ナデシコ科)

本州～九州の山地の林に生える多年草。名前の由来は、葉のついた節のところが、黒くなるため。

観察場所：①・⑧



キレンゲショウマ

「黄蓮華升麻」(ユキノシタ科)

本州(紀伊半島)、四国、九州の深山に稀に自生。森林伐採や鹿の食害などにより絶滅が心配されています。

観察場所：⑧



コバギボウシ

「小葉擬宝珠」(ユリ科)

日当たりの良い湿地に生える多年草。名前の由来は、つぼみの形が、橋の欄干に付ける擬宝珠に似て、小型のため。

観察場所：③・④・⑥・⑦・植



ナツエビネ

「夏海老根」(ラン科)

各地の湿った落葉樹林下に自生します。観賞目的の採集などにより減少しています。絶滅危惧種。

観察場所：⑧

催し物のご案内 世界の食虫植物展

7月18日～8月31日
葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサをはじめ、ウツボカズラやサラセニアなどの食虫植物・約100種700点を展示。企画展の開催期間中、土曜、日曜、月曜の午後1時30分から食虫植物ミニ教室を開催します。

仙石原湿原の昆虫展
仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。場所：管理棟1階 展示室
6月20日～8月31日

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：8月12日(水)、26日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第15号

8月15日～8月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

まだまだ暑い日が続いていますが、植生復元区では“秋の七草”の一つ“オミナエシ”の花が見頃を迎え、草原を黄金色に染めています。企画展会場では、夏の企画展「世界の食虫植物展」を開催中！！期間中の土曜日、日曜日、月曜日には、食虫植物ミニ教室も開催します！

見頃の花 77 種

＜草の花＞オミナエシ レンゲショウマ コオニユリ ツリガネニンジン シシウド
サワギキョウ カワラナデシコ ミソハギ シラヒゲソウ オトコエシ ミズオトギリ
サワヒヨドリ ヒヨドリバナ キツネノカミソリ ヤマハハコ ハコネギク ナツエビネ
キレンゲショウマ ダイコンソウ ユウガギク コウゾリナ ミズヒキ ゲンノショウコ
タチフウロ マツカゼソウ キンミズヒキ ヤブラン ヤマノイモ ヒツジグサ コウホネ
ベニコウホネ サイジョウコウホネ スイレン オオヌマハリイ シカクヒマワリ ほか
＜木の花＞ホツツジ コマツナギ ムクゲ タマアジサイ ハナツクバネウツギ コムラサキ
イワナンテン キンロバイ サツマハギ ほか

咲き始めの花

マツムシソウ ワレモコウ アサマフウロ サワシロギク スズムシバナ タムラソウ
ヤマハギ ツクシハギ ミヤギノハギ ほか



植生復元区に咲く“オミナエシ”

オミナエシ 「女郎花」(オミナエシ科)

秋の七草の1つとして古くから親しまれ、「万葉集」や「古今和歌集」の中でも多く詠まれています。

観察場所：②・⑦・植



園内では、マツムシソウの花が咲き始めました。



あつという間に葉をとじて、虫を捕まえるハエトリグサ。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



レンゲショウマ

「蓮華升麻」(キンポウゲ科)

本州中部(福島県～奈良県)の太平洋側の山地に生える多年草。日本固有種で、1属1種の植物です。

観察場所：①



コオニユリ

「小鬼百合」(ユリ科)

北海道～九州の草原に自生。オニユリとよく似ていますが、葉の付け根にムカゴができるので区別できます。

観察場所：②・④・⑥・⑦・植



ツリガネニンジン

「釣鐘人参」(キキョウ科)

北海道～九州の山野に生える多年草。名前の由来は、花を釣鐘に、白く太い根を朝鮮人参にたとえたもの。

観察場所：②・植



サワギキョウ

「沢桔梗」(キキョウ科)

北海道～九州の山地の湿地に生える多年草。全草にロペリンという成分を含んでおり、有毒植物です。

観察場所：⑥・⑦・⑧・植



シシウド

「猪独活」(セリ科)

本州～九州の山地の斜面に自生。名前の由来は、ウドに似て姿が壮大なため。日本の固有種で、箱根にもあります。

観察場所：③・⑦・植



カワラナデシコ

「河原撫子」(ナデシコ科)

本州～九州の日当たりの良い草地や河原に生える多年草。オミナエシと共に、秋の七草の1つです。

観察場所：園内各所

催し物のご案内

世界の食虫植物展 7月18日～8月31日

葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサをはじめ、ウツボカズラやサラセニアなどの食虫植物・約100種700点を展示。企画展の開催期間中、土曜、日曜、月曜の午後1時30分から食虫植物ミニ教室を開催します。

仙石原湿原の昆虫展
仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。場所：管理棟1階 展示室
6月20日～8月31日

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：8月26日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第16号

8月25日～9月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

朝晩だいが過ぎやすくなった仙石原では、穂を出し始めたススキが秋の気配を感じさせてくれます。園内では、マツムシソウやワレモコウ、オミナエシといった初秋の花が見頃となっています。好評開催中の「世界の食虫植物展」は今月末まで！！食虫植物ミニ教室では、食虫植物が虫を捕まえる方法をわかりやすく解説します。

見頃の花 80種

＜草の花＞ミズトンボ オミナエシ サワヒヨドリ サワギキョウ マツムシソウ
ワレモコウ ユウガギク シラヒゲソウ ミズオトギリ スズムシバナ ツルフジバカマ
ミズヒキ キンミズヒキ ヒヨドリバナ マツカゼソウ サワシロギク ゲンノショウコ
タムラソウ ヤマハハコ コオニユリ タチフウロ コウゾリナ ハコネギク ヤマノイモ
ネコハギ キレンゲショウマ コウホネ サイジョウコウホネ ミズアオイ ヒツジグサ
スイレン オオヌマハリイ ヤブラン シカクヒマワリ ほか

＜木の花＞ヤマハギ ホツツジ コマツナギ ムクゲ タマアジサイ コムラサキ
キンロバイ ほか

咲き始めの花

ススキ アサマフウロ サラシナショウマ マアザミ タイアザミ ノコンギク ツクシハギ
ミヤギノハギ イワショウブ ほか



植生復元区に咲く“ミズトンボ”

ミズトンボ 「水蜻蛉」(ラン科)

北海道～九州の日当たりの良い湿地に生える多年草。名前の由来は、湿地に生え花の形がトンボに似るため。

観察場所：植



園内では、ススキの穂が出始めました！



“食虫植物ミニ教室”では、食虫植物が虫を捕らえる方法をわかりやすく解説します。

《観察場所記号》サ：サービスヤード ①：落葉広葉樹林(乾生林)区 ②：ススキ草原区 ③：低層湿原区 ④：ヌマガヤ草原区
⑤：高山のお花畑区 ⑥：高層湿原区 岩：岩場植物区 ⑦：仙石原湿原区 ⑧：湿生林区 植：植生復元区



オミナエシ

「女郎花」(オミナエシ科)

秋の七草の1つとして古くから親しまれ、「万葉集」や「古今和歌集」の中でも多く詠まれています。

観察場所：②・⑦・植



ユウガギク

「柚香菊」(キク科)

本州(近畿地方以北)の草地や道端に生える多年草。和名は、柚の香る菊だが、由来はよくわかっていない。

観察場所：園内各所



ワレモコウ

「割木瓜・吾亦紅」(バラ科)

球状の花穂には小さな花が密生し、一つ一つの花に花びらはなく、先端から下に向かって咲き進みます。

観察場所：②・④・⑦・植



マツムシソウ

「松虫草」(マツムシソウ科)

山地の草原に生える2年草。名前の由来はいくつか諸説があり、マツムシが鳴く頃に花が咲くからとも。

観察場所：⑤



サワギキョウ

「沢桔梗」(キキョウ科)

北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。仙石原湿原にも群生しており、園内では秋を代表する湿原の花です。

観察場所：⑥・⑦・⑧・植



サワヒヨドリ

「沢鶉・沢火寄取」(キク科)

フジバカマと同じ仲間、クマリンという物質を含んでおり、生干しにすると良い香りがします。

観察場所：園内各所



ヤマハギ

「山萩」(マメ科)

各地の日当たりの良い山野に生える落葉低木。秋の七草の1つとして親しまれる萩は、この植物のことです。

観察場所：サ・②

催し物のご案内

世界の食虫植物展 7月18日～8月31日

葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサをはじめ、ウツボカズラやサラセニアなどの食虫植物・約100種700点を展示。企画展の開催期間中、土曜、日曜、月曜の午後1時30分から食虫植物ミニ教室を開催します。

仙石原湿原の昆虫展 仙石原湿原やススキ草原に生息する貴重な昆虫を写真・標本・生体を用いて紹介します。場所：管理棟1階 展示室
6月20日～8月31日

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：9月9日(水)、9月23日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第17号

9月5日～9月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

台ヶ岳の草原でも、ススキの穂が出揃うようになり、徐々に近づく秋の気配を感じさせてくれます。この時期の植生復元区では、深紅のがわいらしい花をつけるワレモコウが群生し、風になびく姿を楽しめます。また、園内では、アサマフウロやサワシロギク、サワギキョウなど鮮やかな秋の花が見頃となります。

見頃の花 83種

＜草の花＞ワレモコウ アサマフウロ サワシロギク サワヒヨドリ マツムシソウ
キンミズヒキ マアザミ サワギキョウ キレンゲショウマ イワショウブ メドハギ
ツリフネソウ スズムシバナ オミナエシ ゲンノショウコ ポントクタデ シラヒゲソウ
ミズヒキ タムラソウ アカバナ タイアザミ ヒメシロネ ヒヨドリバナ タチフウロ
イタドリ ヤマホトトギス ミズアオイ ツルフジバカマ ユウガギク ウド ヤブラン
エゾリンドウ コウホネ ヒツジグサ スイレン ほか

＜木の花＞ヤマハギ マキエハギ ツクシハギ サツマハギ タマアジサイ コムラサキ
ハナツクバネウツギ キンロバイ ムクゲ ほか

咲き始めの花

アケボノソウ サクラタデ サラシナショウマ タカクマヒキオコシ オクトリカブト
ヒダカミセバヤ アキギリ ミゾソバ ミヤコアザミ ほか



お目見に欠かせないワレモコウ。

ワレモコウ 「割木瓜・吾亦紅」 (バラ科)

北海道～九州の日当たりの良い山野に生える多年草。漢方では、根を乾燥させて、止血剤として利用します。

観察場所：②・④・⑦・植



台ヶ岳のススキ草原の様子。
(9月4日撮影)



植生復元区では、アケボノソウが咲き始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



アサマフウロ

「浅間風露」(フウロソウ科)

山地の湿地に生える多年草。名前の由来は、長野県と群馬県の境に広がる浅間高原に多く見られることから。

観察場所：④・⑤・⑥



サワシロギク

「沢白菊」(キク科)

各地の湿地に群生する多年草。花の咲き始めは白色ですが、次第に淡い紅色に変わっていきます。

観察場所：④・⑥・⑦・植



サワヒヨドリ

「沢鶉・沢火寄取」(キク科)

フジバカマと同じ仲間、クマリンという物質を含んでおり、生干しにすると良い香りがします。

観察場所：園内各所



マツムシソウ

「松虫草」(マツムシソウ科)

山地の草原に生える2年草。名前の由来はいくつか諸説があり、マツムシが鳴く頃に花が咲くからとも。

観察場所：⑤



キンミズヒキ

「金水引」(バラ科)

北海道～九州の道ばたや草地に生える多年草。名はミズヒキ(タデ科)に花の様子が似て黄金色の花を付けるため。

観察場所：園内各所



マアザミ

「真薊」(キク科)

各地の湿地に生える多年草。花の咲く様子を煙管(きせる)の雁首に例えて、キセルアザミとも呼ばれています。

観察場所：③・⑦・植



サワギキョウ

「沢桔梗」(キキョウ科)

各地の湿地に生える多年草ですが、神奈川県内では、仙石原湿原だけにしか分布していません。

観察場所：⑥・⑦・⑧・植

催し物のご案内

* 湿原コンサート * 【ハーモニカの演奏会】

開催日：9月19日(土)
午前の部：11:00～ 午後の部：13:30～
場所：箱根湿生花園・野外特設会場
演奏者：厚木ひまわり、田中義彦&小田原シニア
ハーモニカアンサンブル同好会

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：9月9日(水)、9月23日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第18号

9月15日～9月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 http://www.hakone.or.jp/shissei/

園内では、アサマフウロのピンク色の花が群生し、とても華やかです。また、エゾリンドウやアケボノソウといった秋の草花も見頃を迎えています。9月19日には、ハーモニカの演奏会を開催します。秋めいた園内に響くハーモニカの音色を是非お楽しみください。

見頃の花 85種

＜草の花＞アサマフウロ エゾリンドウ サワシロギク タカクマヒキオコシ タムラソウ
ゲンノショウコ アケボノソウ ツリフネソウ サワギキョウ ノハラアザミ タイアザミ
ミヤコアザミ ツルニンジン イワショウブ シラヤマギク ツルフジバカマ ヒダカミセバヤ
アキギリ カノツメソウ ハイメドハギ ポントクタデ オクトリカブト シロバナミズヒキ
ミズヒキ アカバナ レイジンソウ ミズアオイ ヒツジグサ スイレン コウホネ ほか

＜木の花＞ヤマハギ ミヤギノハギ マルバハギ ツクシハギ コムラサキ ハナツクバネウツギ
キンロバイ ウド ほか

咲き始めの花

サクラタデ アキチョウジ シロヨメナ イヌショウマ テンニンソウ ヒキオコシ シオン
ミゾソバ ほか



ヌマガヤ草原に咲くアサマフウロ。

アサマフウロ 「浅間風露」 (フウロソウ科)

中部地方の山地の湿地に生える多年草。日本のフウロソウの仲間では最も大きな花を咲かせます。

観察場所：④・⑥



台ヶ岳のススキ草原の様子。
(9月14日撮影)



園内では、サクラタデが咲き
始めました。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



エゾリンドウ

「蝦夷竜胆」(リンドウ科)

北海道～本州(中部以北)の山地の湿地に生える多年草。切花用に栽培されるのは、この園芸種です。

観察場所：④・⑥



サワシロギク

「沢白菊」(キク科)

各地の湿地に群生する多年草。花の咲き始めは白色ですが、次第に淡い紅色に変わっていきます。

観察場所：④・⑥・⑦・植



タカクマヒキオコシ

「高隈引き起こし」(シソ科)

関東以西の太平洋側の山地に生え、神奈川県では仙石原湿原のみに自生。名前は、産地の鹿児島県高隈山から。

観察場所：③・⑦・⑧・植



ゲンノショウコ

「現の証拠」(フウロソウ科)

北海道～九州の山野に生える多年草。東日本では白い花、西日本には紅紫色の花が多く見られます。

観察場所：園内各所



タムラソウ

「田村草」(キク科)

本州、四国、九州の山地の草原などに生える多年草。アザミによく似た花をつけるが、刺がない。

観察場所：②・植



アケボノソウ

「曙草」(リンドウ科)

各地の山地の湿地に生える2年草。1年目はオオバコに似た葉を広げ、2年目に花茎を伸ばして花が咲きます

観察場所：⑦

催し物のご案内

* 湿原コンサート * 【ハーモニカの演奏会】

開催日：9月19日(土)
午前の部：11:00～ 午後の部：13:30～
場所：箱根湿生花園・野外特設会場
演奏者：厚木ひまわり、田中義彦&小田原シニア
ハーモニカアンサンブル同好会

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：9月23日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第19号

9月25日～10月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

さわやかな秋風が吹ふきぬけるようになった園内では、ホトトギスの赤い実が目立つようになり、水辺では、群生するサクラタデの可憐な花が目立ちます。

台ヶ岳の草原では、白くなり始めたススキの穂が風になびき、多くの観光客が訪れています！

見頃の花と木の実 79種

＜草の花＞サクラタデ サワギキョウ アケボノソウ キバナアキギリ アサマフウロ
ホトトギス サワシロギク マアザミ キイジョウロウホトトギス タカクマヒキオコシ
ヒキオコシ マツムシソウ ウメバチソウ ポントクタデ シラヤマギク ヒダカミセバヤ
ミヤコアザミ ノハラアザミ タニジャコウソウ タイアザミ エゾリンドウ テンニンソウ
イヌショウマ レイジンソウ ミズヒキ シロバナミズヒキ ミズアオイ シオン ほか

＜木の花や実＞ツリバナの実 イヌウメモドキの実 ミヤギノハギ マルバハギ ツクシハギ
ハナツクバネウツギ ムクゲ ほか

咲き始めの花、色付き始めた実

(花) セキヤノアキチョウジ シロヨメナ ミカエリソウ ナンブアザミ ミゾソバ ほか
(実) コマユミ コムラサキ ほか



紺の花びらのような色合いが美しいサクラタデ。

サクラタデ 「桜蓼」 (タデ科)

本州以南の日当たりの良い水辺に生える多年草。タデの仲間では最も大きな花を咲かせ、群生します。

観察場所：③・⑥・⑧



台ヶ岳のススキ草原の様子。
(9月23日撮影)



植生復元区に群生するサワギキョウの様子。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



サワギキョウ

「沢桔梗」(キキョウ科)

各地の湿地に生える多年草ですが、神奈川県内では、仙石原湿原だけにしか分布していません。

観察場所：⑤・⑥・⑦・植



アケボノソウ

「曙草」(リンドウ科)

各地の山地の湿地に生える2年草。1年目はオオバコに似た葉を広げ、2年目に花茎を伸ばして花が咲きます。

観察場所：サ・⑥・⑦・植



ホトトギス

「杜鵑草」(ユリ科)

名前の由来は、花にある斑点を鳥のホトトギスの胸にある模様に見立てて。箱根にも自生しています。

観察場所：園内各所



サワシロギク

「沢白菊」(キク科)

各地の湿地に群生する多年草。花の咲き始めは白色ですが、次第に淡い紅色に変わっていきます。

観察場所：④・⑥・⑦・植



マアザミ

「真薊」(キク科)

各地の湿地に生える多年草。花の咲く様子を煙管(きせる)の雁首に例えて、キセルアザミとも呼ばれています。

観察場所：③・⑦・植



キバナアキギリ

「黄花秋桐」(シソ科)

本州～九州の山に生える多年草。名前の由来は、花が紫色のアキギリ(秋桐)に似て、黄花なので。箱根にも自生。

観察場所：①・④・岩

催し物のご案内

秋の山野草と盆栽展

10月10日～11月10日

ホトトギスやダイモンジソウなど、秋の野山を彩る可憐な花や木の実・草の実、カエデなど80種800株と秋の風情漂う「盆栽」を展示します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：10月14日(水)、28日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第20号

10月5日～10月14日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

朝晩の冷え込みで、うっすら色付き始めた林の下では、シロヨメナの清楚な白い花が目立ちます。また、真っ赤に色付いたイヌウメモドキの実も今が見頃。

10月10日からは、秋の山野草と盆栽展を開催します。“秋を代表する山野草”や“秋の風情漂う盆栽”を展示します！

見頃の花と木の实 69種

＜草の花＞シロヨメナ ヤマトリカブト ノコンギク セキヤノアキチョウジ ミセバヤ
ホトトギス ノハラアザミ アキノキリンソウ キイジョウロウホトトギス イワシャジン
マツムシソウ サクラタデ アキチョウジ カメバヒキオコシ タイアザミ サラシナショウマ
ウメバチソウ ミヤコアザミ ノハラアザミ マアザミ ヒキオコシ ナンブアザミ ミゾソバ
リンドウ タニジャコウソウ ミズヒキ シロバナミズヒキ アカバナ ほか

＜木の实＞イヌウメモドキ ガマズミ コマユミ ニシキギ ツリバナ ナツハゼ ほか

咲き始めの花、色付き始めた実

(花) ヤマラッキョウ キイトラッキョウ ダイモンジソウ シュウメイギク ほか
(実) コムラサキ ノイバラ スイカズラ シオデ ほか



清楚な白い花を咲かせるシロヨメナ。

シロヨメナ 「白嫁菜」 (キク科)

本州～九州の山林に生える多年草。箱根にも多く、薄暗い林内で咲く真っ白な花が印象的です。

観察場所：①・岩



台ヶ岳のススキ草原の様子。
(10月3日撮影)



秋の山野草と盆栽展は、10月10日より開催します。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



ヤマトリカブト

「山鳥兜」(キンポウゲ科)

本州(東北～中部地方)の山地に生える多年草で、箱根にも自生します。草全体にアルカロイドを含み有毒。

観察場所：①・⑧



イヌウメモドキ

「犬梅擬」(モチノキ科)

山地の湿地に生える落葉低木。ウメモドキに似ていますが、実がやや小さく、枝葉に毛がないので区別できます。

観察場所：サ・岩・⑦



セキヤノアキチョウジ

「関屋の秋丁字」(シソ科)

関東・中部地方の山地の木陰に生える多年草。園内では、良く似たアキチョウジも見ることができます。

観察場所：③・岩



ホトトギス

「杜鵑」(ユリ科)

山地の半日陰に生える多年草。名前の由来は、花びらの斑点を鳥のホトトギスの胸にある模様にととえて。

観察場所：園内各所



ノコンギク

「野紺菊」(キク科)

名前の由来は、野に咲く紺色のキクの意味。一般に野菊といえ、このノコンギクやヨメナのことを指します。

観察場所：園内各所



ミセバヤ

「見せばや」(ベンケイソウ科)

四国(小豆島)の山地の岩壁に生える多年草。名前の由来は、花が美しいので「誰に見せよう」の意味から。

観察場所：⑤

催し物のご案内

秋の山野草と盆栽展

10月10日～11月10日

ホトトギスやダイモンジソウなど、秋の野山を彩る可憐な花や木の实・草の実、カエデなど80種800株と秋の風情漂う「盆栽」を展示します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

* 園内ガイドウォーク *

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：10月14日(水)、28日(水)

時間：午前10時～正午 定員：20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第21号

10月15日～10月24日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

急な冷え込みにより、園内では、ケヤキやブナ、ミソハギなどの草木が色付き、“紅葉の季節”がはじまりました。岩場ではダイモンジソウ、道端ではリンドウが咲き、深まりつつある秋を感じさせてくれます。好評開催中の“秋の山野草と盆栽展”では、“秋を代表する山野草”や“風情漂う盆栽”を楽しめます！

見頃の花・木の实・紅葉 62種

＜草の花＞ダイモンジソウ リンドウ キクタニギク ノコンギク ヤマラッキョウ
サラシナショウマ キイトラッキョウ エンシュウハグマ イワシャジン ヒキオコシ
カメバヒキオコシ ヤマトリカブト マツムシソウ ウメバチソウ タイアザミ アカバナ
サクラタデ ノハラアザミ シロヨメナ アカバナ ほか

＜木の实＞コムラサキ イヌウメモドキ ノイバラ メギ ナツハゼ イヌツゲ コマユミ
ニシキギ ガマズミ キミノガマズミ カラフトイバラ シオデ ほか

＜紅葉＞ケヤキ ブナ ナツツバキ ドウダンツツジ シロヤシオ ナツハゼ トチノキ
イヌザクラ オオヤマザクラ カスミザクラ シラキ ミヤマシグレ ミソハギ ほか

咲き始めの花、色付き始めた実

(花) リュウノウギク サイシュウイワギク (実) マユミ (紅葉) イロハモミジ オオモミジ
コミネカエデ カラコギカエデ ほか



ケヤキやブナ、ミソハギなどの草木が色付き、紅葉がはじまった園内の様子 (10月14日 撮影)



植生復元区からみた台ヶ岳のススキ草原



“秋の山野草と盆栽展”の様子 (盆栽展示)

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



ダイモンジソウ

「大文字草」(ユキノシタ科)

北海道～九州の山地の湿った岩場に生える多年草。名前の由来は、花の形を大の字に見立てて。箱根にも自生。

観察場所: ⑤・岩



リンドウ

「竜胆」(リンドウ科)

根に強い苦味があり、漢方ではこの根を「竜胆(りゅうたん)」と呼び、健胃薬として用いられます。

観察場所: 園内各所



キクタニギク

「菊溪菊」(キク科)

本州、九州の山地のやや乾いた崖や林のふち、土手などに生える多年草。別名:アワコガネギク。

観察場所: ①



コムラサキ

「小紫」(クマツヅラ科)

園芸店で「紫式部」の名で売られているのはコムラサキのこと。実付きが良いので、庭木に利用されます。

観察場所: ⑦・⑧



ノコンギク

「野紺菊」(キク科)

名前の由来は、野に咲く紺色のキクの意味。一般に野菊といえば、このノコンギクやヨメナのことを指します。

観察場所: 園内各所



ヤマラッキョウ

「山辣蕪」(ユリ科)

名前は、山に生えるラッキョウの意味。球根はラッキョウのように太らないため、食用には向きません。

観察場所: ⑦・植



サラシナショウマ

「晒菜升麻」(キンポウゲ科)

日本各地の山地の林内に群生する多年草。漢方では根茎を「升麻」といい、解熱剤などに用います。

観察場所: ①・岩・⑧

催し物のご案内

秋の山野草と盆栽展

10月10日～11月10日

ホトトギスやダイモンジソウなど、秋の野山を彩る可憐な花や木の実・草の実、カエデなど80種800株と秋の風情漂う「盆栽」を展示します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日: 10月28日(水)

時間: 午前10時～正午 定員: 20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより 第22号

10月25日～11月4日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

赤や黄に色付きだした木々の葉が園内を彩り、美しく色付いたコムラサキやノイバラなどの木の実はまるで宝石のようです。秋の企画展“秋の山野草と盆栽展”も好評開催中。期間中の毎週土曜日には、どんぐりクラフト教室も開催しています。

見頃の花・木の実・紅葉 48種

＜草の花＞リュウノウギク ヤマラッキョウ リンドウ ノハラアザミ シロヨメナ
キイトラッキョウ ヤマトリカブト サイシュウイワギク サフラン ほか

＜木の实＞ノイバラ コムラサキ ニシキギ イヌウメモドキ メギ ナツハゼ シオデ
イヌツゲ コマユミ スイカズラ ノブドウ ズミ クロウメモドキ ほか

＜紅葉＞イロハモミジ オオイタヤメイゲツ カラコギカエデ ヒトツバカエデ シラキ
ヤマボウシ ガマズミ ナツハゼ ドウダンツツジ シロヤシオ ミツバツツジ ホツツジ
ミヤマシグレ マユミ コバノズイナ ミソハギ ほか

咲き始めの花、色付き始めた実

(花) ノジギク イソギク オヤマボクチ (実) マユミ (紅葉) オオモミジ カジカエデ
ホソエカエデ コミネカエデ ほか



朝晩の冷え込みにより、周辺の山々や園内の木々も赤や黄に色付いてきました。(10月23日撮影)



植生復元区からみた台ヶ岳のススキ草原



“秋の山野草と盆栽展”では、どんぐりクラフト教室も開催しています。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区
⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



リュウノウギク

「竜腦菊」(キク科)

箱根の山道で多く見られるキクで、晩秋まで咲いています。葉や茎に竜腦に似た香りがあります。

観察場所:サ・①・岩・⑥



ノイバラ

「野茨」(バラ科)

沖縄を除く各地の山野に自生します。赤く色付いた果実は、漢方で下剤や利尿剤として用いられます。

観察場所:②・⑦



ヤマラッキョウ

「山辣蕒」(ユリ科)

福島県以南の草地などに生え、箱根にも多く自生します。葉や茎を傷つけるとニラに似た香りがします。

観察場所:⑦・植



イロハモミジ

「いろは紅葉」(カエデ科)

福島県以南の低山に生える落葉高木。紅葉の名所である京都府の高雄に因んで、別名「タカオモミジ」。

観察場所:サ・①・岩・⑧



リンドウ

「竜胆」(リンドウ科)

根に強い苦味があり、漢方ではこの根を「竜胆(りゅうたん)」と呼び、健胃薬として用いられます。

観察場所:園内各所



コムラサキ

「小紫」(クマツヅラ科)

実付きが良いので、庭木に利用されます。園芸店で「紫式部」の名で売られているのはコムラサキのことです。

観察場所:サ・③・⑥・⑦・⑧



ニシキギ

「錦木」(ニシキギ科)

日本各地の丘陵地や山地の林内や林縁に生える落葉低木。名は、紅葉が錦のように美しいことから。

観察場所:園内各所

催し物のご案内

秋の山野草と盆栽展

10月10日～11月10日

ホトトギスやダイヤモンドソウなど、秋の野山を彩る可憐な花や木の実・草の実、カエデなど80種800株と秋の風情漂う「盆栽」を展示します。

箱根湿生花園 フォトコンテスト2015

2015年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日:10月28日(水)、11月11日(水)

時間:午前10時～正午 定員:20名

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。

花だより

第23号

11月5日～11月14日まで

箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

カエデの仲間が色付き、園内は紅葉の美しい季節を迎えています。また、寒さが加わったことでより深みを増したコムラサキやノブドウなどの草木の実の色が、紅葉に華を添えています。“秋の山野草と盆栽展”は、11月10日まで。お見逃し無く！

見頃の花・実・紅葉 46種

＜草の花＞ノジギク イソギク リンドウ ヤマラッキョウ オヤマボクチ ほか

＜木の実・草の実＞ノブドウ コムラサキ イヌウメモドキ イヌツゲ スイカズラ ノイバラ ズミ シオデ ほか

＜紅葉＞イロハモミジ イトマキイタヤ エンコウカエデ カラコギカエデ ハナノキ ウリハダカエデ ホソエカエデ コミネカエデ カジカエデ ヤマボウシ ヒメシャラ コハウチワカエデ ミヤマシグレ トウゴクミツバツツジ アカシデ カマツカ ほか

咲き始めの花・色づき始めの実・葉

(花) アシズリノジギク (実) マユミ
(紅葉) オオモミジ チドリノキ メグスリノキ ヤクシマオナガカエデ ほか



カエデの仲間が色付き、紅葉の美しい季節を迎えた園内の様子 (11月4日撮影)



日差しを受けて、輝くススキの穂。まだまだ、見頃です。



秋の山野草と盆栽展の開催は、11月10日まで。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



イロハモミジ

「いろは紅葉」(カエデ科)

福島県以南の低山に生える落葉高木。紅葉の名所である京都府の高雄に因んで、別名「タカオモミジ」。

観察場所:サ・①・岩・⑧



コムラサキ

「小紫」(クマツヅラ科)

園芸店で「紫式部」の名で売られているのはコムラサキのこと。実付きが良いので、庭木に利用されます。

観察場所:サ・⑥・⑦・⑧



ノジギク

「野路菊」(キク科)

兵庫・広島・山口・高知・愛媛・大分・宮崎・鹿児島県の海岸に生える多年草。栽培菊の原種とされています。

観察場所:⑤



ノブドウ

「野葡萄」(ブドウ科)

日本各地の山野に生える落葉ツル性植物。果実に虫が寄生し、紫色や青色の実が付きます。食用にはしません。

観察場所:②



イソギク

「磯菊」(キク科)

本州(千葉～静岡県)の太平洋岸、伊豆諸島の海岸の崖などに生える多年草。名前の由来は、磯に生える菊から。

観察場所:⑤



リンドウ

「竜胆」(リンドウ科)

漢方では根を、非常に苦味が強いので「竜胆(りゅうたん)」と呼び、健胃薬として用いられます。

観察場所:園内各所

☆紅葉について☆ 知っていましたか?



ウリハダカエデ



コミネカエデ

木々の葉が色付くのは、葉を落とすための準備!

- ①寒くなると葉と枝の間に離層(仕切り)が出来ます。
- ②日中気温が高いと光合成が行われ、葉にたくさんの糖分が出来ますが、枝の方に運ばれず葉に留まります。やがて赤い色素が作られます。
- ③気温の低下により葉緑素が壊れて緑色が消えてきます。
- ④葉が赤く見えるようになり、紅葉の始まり。(注:木の種類によっては多少異なることがあります。)

紅葉はどう見たら美しいのかな?

色付いた葉に太陽の光が当たっているのを見ると、順光と逆光とでは葉の色が違って見えます。逆光で見ただけが一般的には美しいとされ、夕方など太陽の高度が低いときが一層良いといわれています。

花だより 第24号(最終号)

11月15日~11月25日まで
箱根湿生花園 Tel:0460-84-7293 <http://www.hakone.or.jp/shissei/>

オオモミジやイロハモミジなどカエデの仲間が色付き、箱根湿生花園の紅葉もいよいよ終盤を迎えています。林の下では、箱根湿生花園に春の訪れを告げるミスバショウの冬芽が顔をのぞかせています。

花だよりは、第24号が今シーズンの最終号。箱根湿生花園は12月1日より3月19日までの間、冬期休園となります。来年、3月20日には、ミスバショウの開花とともに開園いたします。皆様の御来園を心よりお待ちしております。

見頃の花・実・紅葉 33種

＜草の花＞ノジギク イソギク アシズリノジギク ほか

＜木の実・草の実＞ノブドウ ノイバラ コムラサキ イヌツゲ シオデ ズミ スイカズラ マユミ ツルマサキ ほか

＜紅葉＞イロハモミジ オオモミジ ヤクシマオナガカエデ コハウチワカエデ ウリハダカエデ トウゴクミツバツツジ アカシデ カマツカ ほか



箱根湿生花園の「2万株のミスバショウ」の現在の様子。このタケノコのような冬芽の状態越冬し、来春には美しい花を咲かせてくれます。



カエデの仲間が色付き、園内の紅葉も終盤を迎えています。



植生復元区からみた台ヶ岳のススキ草原。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区 岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区 植:植生復元区



イロハモミジ

「いろは紅葉」(カエデ科)

福島県以南の低山に生える落葉高木。紅葉の名所である京都府の高雄に因んで、別名「タカオモミジ」。

観察場所:サ・①・岩・⑧



ノジギク

「野路菊」(キク科)

兵庫・広島・山口・高知・愛媛・大分・宮崎・鹿児島県の海岸に生える多年草。栽培菊の原種とされています。

観察場所:⑤



オオモミジ

「大紅葉」(カエデ科)

本州~九州の主に太平洋側の山地に生える落葉高木。葉は、イロハモミジに比べ大型。箱根でも多く見られます。

観察場所:サ・①・②



ノイバラ

「野茨」(バラ科)

日本各地の山野に生える落葉低木。赤く色付いた果実は、漢方で下剤や利尿剤として用いられています。

観察場所:②・⑦



イソギク

「磯菊」(キク科)

本州(千葉~静岡県)の太平洋岸、伊豆諸島の海岸の崖などに生える多年草。名前の由来は、磯に生える菊から。

観察場所:⑤



ノブドウ

「野葡萄」(ブドウ科)

日本各地の山野に生える落葉ツル性植物。果実に虫が寄生し、紫色や青色の実が付きます。食用にはしません。

観察場所:②

☆湿生花園の冬支度☆ ミスバショウの防寒対策!



2万株のミスバショウ (4月上旬)



花芽 → ミスバショウ

箱根湿生花園の開園(3月20日)と共に咲き始め、4月上旬に見頃を迎えるミスバショウ。実はこのミスバショウは本来、積雪の多い地域に生える植物です。積雪の多い地域では雪に守られて冬を越しますが、雪がほとんど降らない箱根(仙石原)では、そのままにしておく強い霜によって、芽が痛んでしまいます。そこで、箱根湿生花園では、毎年春に美しい花を咲かせるため、ミスバショウの芽の上に落ち葉を厚く敷いたり、土のう袋に落ち葉を入れたものを並べることで、霜から守っています。落ち葉の下では、温度と湿度が一定に保たれ、雪の下で越冬するのと同じような効果が得られます。ザゼンソウや高山植物などもミスバショウと同様に落ち葉による防寒を行います。